

# 作並温泉 ゆづくしSalon一の坊



## 温泉熱の給湯利用

熱交換器を使って、温泉熱（浴用利用の余剰分）で上水をあたため、給湯に活用しています。



## 概要

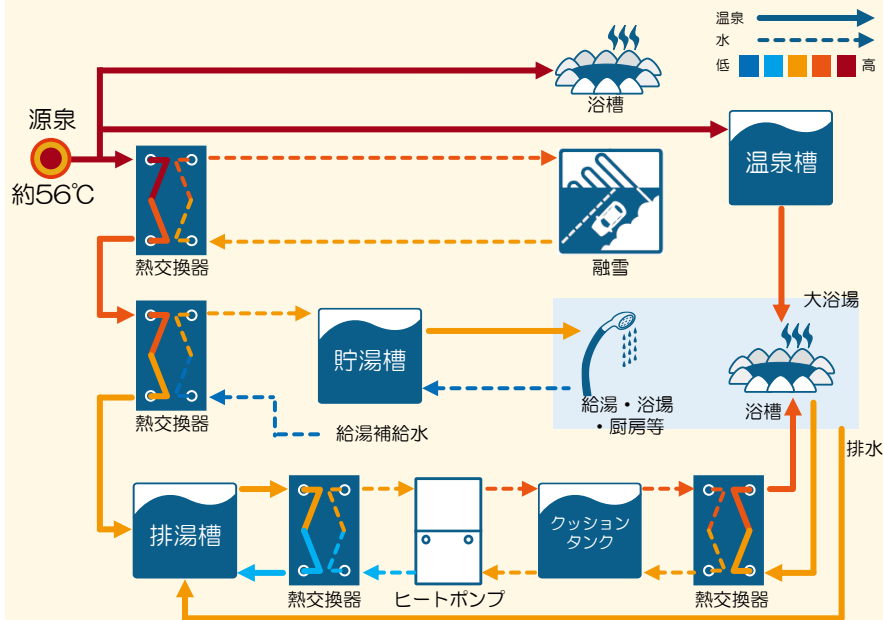
56℃の源泉を熱交換し客室・浴場・厨房等の給湯の昇温に、浴場（浴槽、シャワー等）の排湯熱を循環浴槽の保温に利用している。融雪回路はヒートポンプ採熱温度を低下させるための源泉減温機能としての役割がある。

光熱費削減検討の結果、効果が高いと判明した排湯熱利用を事業化。先に取り組んだグループ会社で重油使用量が大幅に削減されたことから、本事業へ横展開することとなった。

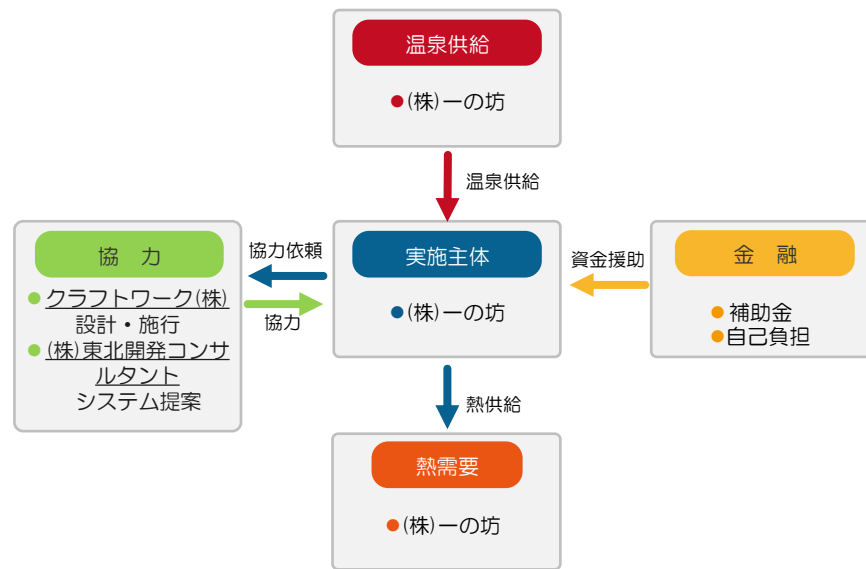
事業者名	(株)一の坊
所在地	宮城県仙台市
泉質	塩化物泉
温泉温度	56℃
熱利用温度	56℃
稼働開始	2021年
総事業費	34,000千円



## 主な温泉熱利用方法のシステム



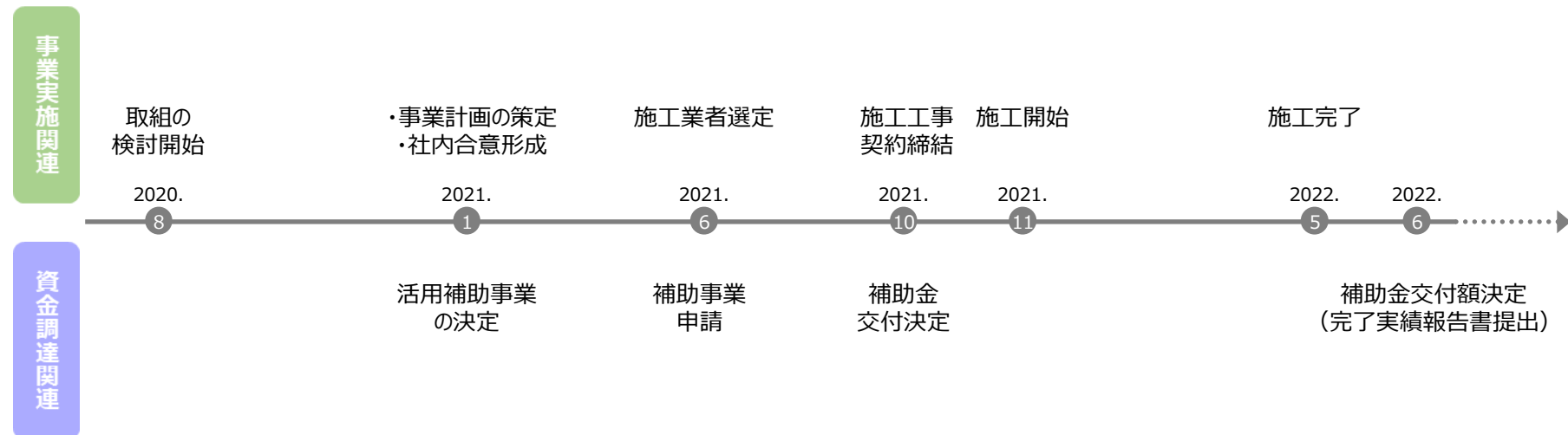
## 実施体制



# 作並温泉 ゆづくしSalon一の坊



## 事業検討の流れ

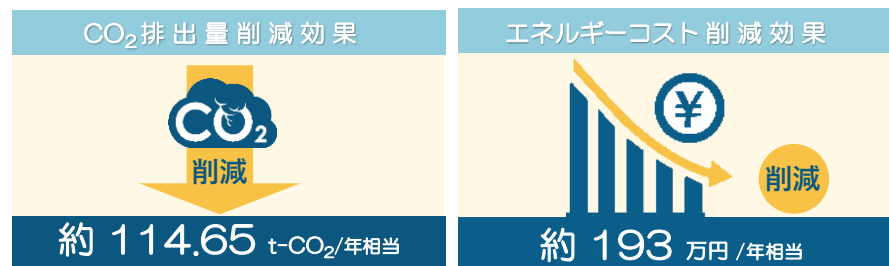


## 事業実施の際の課題と解決策

課題発生時期	課題	解決策
設備導入時	・目標投資回収年数(6年)を実現するための初期費用の低減	・環境省、県の補助金活用
補助金利用検討時	— (特になし)	— (特になし)
補助金申請時	・提出書類が多かった	— (特になし)
補助金採択後 (事業実施中)	— (特になし)	— (特になし)
事業実施後 (導入後)	・異物混入によるポンプ停止 ・源泉槽の熱不足	・検討中

## 主な効果

- ・情報発信や取材などによる、全国の旅館や事業者への普及



※: CO<sub>2</sub>排出量削減効果とエネルギーコスト削減効果は補助事業実績報告書に基づく。

## 今後のビジョン

- ・グループ会社のだいこんの花・松島一の坊への展開